

CWの初心者 2020 年

JA1WOB 齋藤 章

昭和 41 年に電話級アマチア無線技士を取得して、HAMの仲間入りをしました。開局当時、アマ無線はA 3 の電話で通話を行う事が通常と思っていました。A 1 の電信による通信も知らない訳ではありませんでしたが、わざわざ言葉をモールス符号に置き換えて、通信を行う事にメリットは感じませんでした。また、無線仲間は、電話級を取得した後は、電信級を取得する人も多くいましたが、私は電信通信には興味がありませんでした。むしろ、自分で製作した無線機器が、正常に動作する事の方に興味がありました。アマチアバンドを受信して、受信機の調整をする際にはA 3 を聞きながら調整する事もありました。また、A 1 を聞きながら調整をする事もありましたから、欧文のCQ、DE、JA、7 3 は覚える努力をせずとも、自然に聞きとっていました、しかし電信級を取得してA 1 電波で送信するつもりは有りませんでした。けれど、何となく自分のコールサイン位はCWで打てる方が、アマチア無線技士としては箔が付くと思い、CQ DE JA1WOB 7 3 は縦ぶれの電鍵を見立てて、ホチキスでカチャ・カチャと練習はしていました。

暫らく、QRTしたあと1990年にアマチア無線を復活して、50.240SSB モービルグループの仲間入りすると、CWをアクティブに運用している局が多く、また、2アマ以上の局でモービルの50W局が多くいる事を知りました。モービルの50W運用は強力で10W運用ではやはり差が出るのは明らかでした。四十歳後半でCWのテープを毎日聞き続けて1994年に、2級アマチア無線技士を取得して念願の50W局になりました。せっかく、CWでの運用が出来る様になったので、実際のCW交信の内容を受信してみると、2アマ試験の1分間45文字の速度で打っている局は少なく、ゆっくりでも分60文字位の感じでした。なかなかコールサインが取れないし、QSOの内容も良く分かりませんでしたから、やはりCWの交信は無理かとも思いました。それでも、昔に聞いたCQ、DE、JA〇〇〇、7 3などは聞き取れました。50MHzのエスカルゴコンテストは縦ブレのみのゆっくりスピードなので勇気を振り絞って参加しました。この時、CWでの初QSOがJJ1SXAの池さんでした、コールバックがあったのですが、自局で有ることが直ぐに分からず、ちょっと間が空いてのナンバー送信だったのを覚えています。そして、このエスカルゴコンテストでは、3局と交信できました。

その後、1997年～2012年頃にかけて年に1局～10局のペースで忘れない程度で出ていました、それも聞き覚えのあるコールの局が中心でした。

なかなか上達しないのでやがて、2013年頃からはCWの電波が出なくなりましたが、2017年は年間19局で私にしてみれば少し多くなりましたが、なかなかコールサインインが取れないのは、相変わらずでした。

もう少し若い時に、CWに目覚めてればよかったと思いましたが既に遅かったですね。

それでも2019年に、パソコンのソフトでCWの聞き取り練習をする、CW-MANIAでコールサインだけを毎日100局聞く目標を立てて、1ヶ月位すると、その日の調子によりますが、16WPMの分80文字で80%前後聞き取れる様になって来ました。

これでなんとか、実践でCW交信が出来そうになりました、コンテスト以外にも移動局にコールして、599BKのQSOが出来る様になりました。

5月、7月、8月のコンテストで18局交信が出来ました。

今年(2020年)は、4月のALL-JA(15局)5月の東京コンテスト(23局)7月の6m&down(8局)8月のフィールドデー(5局)10月の全市全郡&東京CW(16局)11月の多摩川コンテスト(9局)と、年間の最多局数の合計76局の交信ができました。

そして、東京コンテストで二ケタの23局交信出来たのが自分でも驚きでした。

また1977年からの通算で156交信の3桁になった事も驚きです。

まだまだCW交信は、初心者から抜け出す事が出来ませんが、少しずつでもCWが、楽しくなって来ている様な気がします。

自分からCQをだす事はまだ、まだ、出来ませんから、呼出し専門です。

コンテストを始めた当初はNR?を打たれると、あわててなんの事かわからず、コールサインを連発したりしていました。

今年は、NR?に落ち着いてNR送信が出来る様になりました。

受信の改善では、FT-857のDSP機能にBPFがあり、CWで使用すると60hz、120hz、240hzのフィルターとなり混信が改善される事を知りました。

240hzのフィルター設定をしていますので、初心者には丁度良く聞こえます。

CW愛好家の240各局に比べれば、微々たる交信数と思われるでしょうが、これからも、下手くそなOPのお相手をお願いします(JA1WSE JJ1SXA JM1LZT TKS)

また、ライセンスはあるけど、なかなかCWは難しいと思われる方は、コンテストが良いと思います。何しろ、自分のコールサインと599**位の送信だけで、交信可能です。

ALL-JAの場合は。

DE JA1WOB K (コールバック) R UR59910M TU K

これで終わりです。是非お試しください。

終わりに、いつも使用している、電鍵とパドルを紹介します。

縦ブレ電鍵は、HIMOUND HK-704です

1994年に2アマ試験用に、モールスのA～Zまでを覚える為に購入しました。

パドルは、2010年頃にハムフェアで購入した、ラジオ少年の中国製です。



CWを始めた当初は、HK-704で運用していました。

今年から、なるべくパドルを使って運用していますが、時々ミスタッチをして慌てる事があります。

安定しているのは、縦ブレ電鍵ですが遅いです。

来年もCWでコンテストに参戦しようと思います。

終わり